

## 板橋区ユニバーサルデザイン推進基本方針の修正について

### ○ご意見と修正内容

頁数	第 44 回板橋区バリアフリー推進協議会 及び板橋区バリアフリー推進本部 における主な意見	主な修正内容
目次	●フォントは見やすさに配慮している旨を明示した方がよい（本部）	⇒ページ下部に「見やすさに配慮してフォントを調整する」旨加筆
1 頁	●背景の中で、国の動向についても触れた方がよいのではないか。 （協議会及び本部）	⇒「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進要綱」及び「障害者差別解消法」について加筆
4 頁	●【図表】の分類「ソフトUD（ヒト：心的要素）」項目内の「取り組み」及び「一般的な例」についての記述が分かりづらい （協議会）	⇒「もてなしを実現する取り組み」として「『ひと』による思いやりのある配慮、サービス等の提供」と修正し、一般的な例として「気配り・目配り・心配りの対応」を加筆
11 頁	●ユニバーサルデザインを進めるにあたり、一般論だけでなく板橋区の特徴を出して表現すべき（本部）	⇒4-1「取り組みの対象とその理由」について、板橋区の特徴を出してユニバーサルデザインを表現できるよう「子どもが暮らしやすいまちは、すべての人が暮らしやすいまち」との考え方に立つ旨加筆
		⇒4-2について、「子どもが暮らしやすいまち」を導き出す記述を加筆し、併せて「めざす将来像」を「もてなしの心を大切に、すべての人が心地よさを描けるまち いたばし」へ修正
	●方針や指針など用語に混在が見られるため、整理が必要（本部）	⇒4-3「行動方針」を「取り組み指針」へ修正

その他軽易な文言修正

※協議会：第 44 回バリアフリー推進協議会

本 部：バリアフリー推進本部